

# 建設工事に係る入札・契約事務の改善について

## R3.4.1

苫小牧市では、建設工事に係る入札・契約の適正化を進めるため、次のとおり改善を実施します。

### 1 週休2日設定工事の試行について

#### (1) 目的及び効果

本市が発注する建設工事について、建設業におけるより働きやすい職場環境づくりのため、週休2日設定工事を試行し、受注者の休暇促進と担い手確保を後押しします。

※令和3年4月1日以降の公告分から適用します。

#### (2) 週休2日設定工事の概要

週休2日とは、工期内において、土日・祝日に関わらず、週休2日(4週8休)以上の現場閉所を行うことを言い、受注者は、週休2日に取り組むことで、入職しやすい環境が作られ、建設業における将来の担い手確保に繋がります。

週休2日設定工事には、下記の経費に補正係数が適用されます。

	土木工事			営繕工事		
	4週6休	4週7休	4週8休	4週6休	4週7休	4週8休
労務費	1.01	1.03	1.05	1.01	1.03	1.05
機械経費(賃料)	1.01	1.03	1.04	—	—	—
共通仮設費	1.02	1.03	1.04	—	—	—
現場管理費	1.03	1.04	1.06	—	—	—

※なお、市は週休2日設定工事として発注しますが、契約後に、受注者の希望により週休2日による施工を実施することとなります。(受注者希望方式)

#### (3) 入札の広告から工事完了までの流れ

##### ①公告時

入札告示別表及び特記仕様書にて「週休2日設定工事」を記載しています。

(例)入札告示別表

別表 苫小牧市告示第●●号

13	その他	・本工事は、「週休2日試行工事」の対象工事である。 ・受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。
----	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------

※契約課ホームページに掲載している「令和3年度工事等発注計画書」の項目⑭に、週休2日予定工事欄を設けています。

##### ②入札時

・土木工事については、予定価格の積算の中で、4週8休の補正係数を加味しておりますので、入札書の積算においても、4週8休の補正係数を**加味した積算**として下さい。

(受注後は、週休2日の達成度合いに応じて、受注金額が**減額**することとなります。)

・営繕工事については、予定価格の積算の中で、週休2日の補正係数を加味しませんので、入札書の積算においても、週休2日の補正係数を**加味しない積算**として下さい。

(受注後は、週休2日の達成度合いに応じて、受注金額が**増額**することとなります。)

※土木工事と営繕工事では積算方法が異なりますので、注意してください。

### ③契約後

- ・受注者は週休2日による施工を希望するか否かを決定し、取組意思等を施工協議簿に記載し、施工計画書、計画工程表(任意様式)とともに工事監督員へ提出してください。
- ・工事施工段階においては、工事監督員が必要に応じて聞き取りや関係書類提出の方法等により、実施状況を確認し、対象期間における現場閉所の状況に応じて、設計変更により経費の補正を行います。

### ④工事完了後

- ・週休2日の履行が確認できた場合は、工事成績評定において加点評価を行います。
- ・週休2日設定工事の試行について、アンケートの実施を検討していますので、ご協力をお願いいたします。

### ※全体イメージ図

	予定価格・入札金額		週休2日工事を		4週8休を		
土木 工事	補正係数を含む	⇒	希望する	⇒	達成した	⇒	設計変更しない
				⇒	達成していない	⇒	設計変更する(減額)
		⇒	希望しない(この段階で減額の設計変更を行い、以後は通常工事と同じ取扱い)				
営繕 工事	補正係数を含まない	⇒	希望する	⇒	達成した	⇒	達成状況に応じて設計変更する(増額)※4週8休を達成していない場合は設計変更なし
				⇒	達成していない		
		⇒	希望しない(以後は通常工事と同じ取扱い)				

- (4) その他については、苦小牧市週休2日設定工事試行要領(資料①)、週休2日設定工事の試行について【概要版】(資料②)をご覧ください。

## 2 余裕期間設定工事の本格実施について

平成30年6月より、建設資機材の調達、建設労働者の確保を計画的に行う等受注者の円滑な施工体制の確保を図るため、余裕期間制度を試行していましたが、安定的に活用、運用が図られていますので、令和3年4月から本格運用とします。

※苦小牧市余裕期間設定工事実施要領(試行期間:平成30年6月～令和3年3月31日)・・・資料③

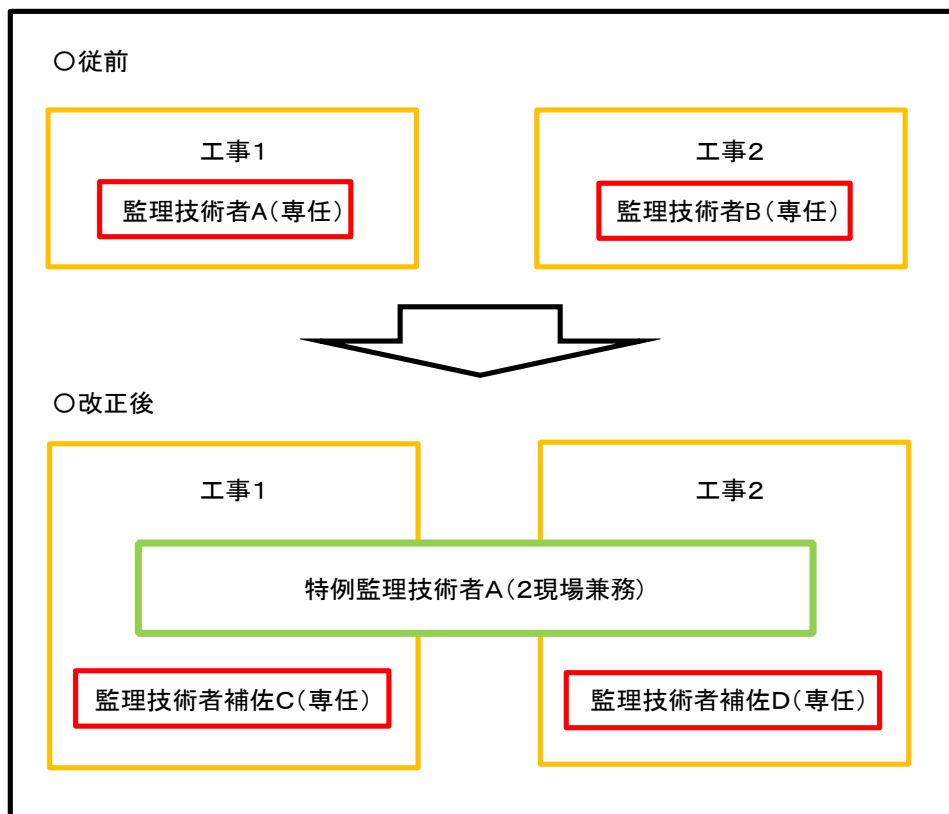
## 3 監理技術者の兼任について

### (1) 概要

建設業法の改正により、特例監理技術者及び監理技術者補佐が新設されました。そのため、「苦小牧市発注工事における特例監理技術者に関する事務取扱要領」を制定し、特例監理技術者が兼任できる工事の対象等を定めました。

### (2) 特例監理技術者の概要

従来、下請金額が4千万円以上(建築一式工事の場合は6千万円以上)の工事を受注する場合、監理技術者を専任で配置することが必要でした。建設業法の改正後から、監理技術者補佐を専任で置く場合は、監理技術者は2工事まで兼任可能となっています(特例監理技術者)。



### (3) 特例監理技術者の兼任対象工事

監理技術者の兼任を認めることができる工事は、以下の条件ア～エのすべてに該当する工事です。

ア 国又は地方公共団体が発注した工事であること。

- ・・・国、北海道、苫小牧港管理組合等が発注する工事と兼任可能です。ただし、発注先に苫小牧市発注工事と兼任可能か必ず確認してください。

イ 工事場所が苫小牧市内であること。

ウ 監理技術者の職務を補佐する者(監理技術者補佐)を専任で配置すること。

エ 特例監理技術者を配置不可とする工事でないこと。

- ・・・配置不可とする場合、入札告示別表等に明示します。

### (4) 監理技術者補佐の資格

監理技術者補佐となれるのは以下の資格を有する者です。

- ア 主任技術者の資格を有する1級施工管理技士補
- イ 監理技術者の資格を有する者

### (5) 特例監理技術者を配置する場合の手続

特例監理技術者を配置する場合、配置予定技術者調書を提出する際に、通常書類(資格・雇用関係が確認できる書類)の他に、兼任する工事の工事名、発注者名、工事場所が明示された書類を添付してください。(例. 契約書の写し、コリンズ工事実績データ等)

### (6) 特例監理技術者・監理技術者補佐の変更

工期途中の同一の者による監理技術者から特例監理技術者への変更、及び特例監理技術者から監理技術者への変更は可能です。変更する場合、現場代理人等変更届に必要な書類を添付して提出してください。

## (7) その他

- ・ 監理技術者の兼任をすることによって、現場の体制に不備が生じたとき又は不良な工事となったときは、市は、現場代理人の兼任を取り消すものとします。
- ・ 国土交通省の「監理技術者制度運用マニュアル」も改正されていますので、詳細はそちらをご参照ください。

※ 苫小牧市発注工事における特例監理技術者に関する事務取扱要領・・・資料④

## 苫小牧市週休2日設定工事試行要領

## (趣旨)

第1条 この要領は、苫小牧市が発注する建設工事において、建設業の担い手確保、入職しやすい環境づくりを計画的に行う等受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、週休2日を設定する工事（以下「週休2日設定工事」という。）を試行するに当たり、必要な事項を定める。

## (定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (2) 対象期間 工事着手日から工事完成日までの期間をいう。工事着手日とは、実際の工事のための現場における準備作業（現場事務所設置や測量等）に着手する日をいう。工事完成日とは、後片付け作業（出来形測量や現場事務所、保安施設等の撤去等）が全て終了した日をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- (3) 現場閉所 巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
- (4) 4週8休以上 対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

## (対象工事)

第3条 試行の対象とする工事は、市長が週休2日による工期設定を行った工事（準備・後片付け期間及び不稼働日（休日、降雨・降雪日その他の要因による作業不能日）を適正に見込んだものに限る。）とする。ただし、災害復旧工事、緊急対応工事、工期末に制限のある工事等週休2日による施工の実施に適さない工事は除くものとする。

## (発注方式)

第4条 受注者希望方式とし、契約後、受注者の希望により週休2日による施工を実施することができるものとする。

## (補正方法)

第5条 当初予定価格から4週8休を前提とした経費の積算を行い、現場閉所の達成状況の結果、4週8休に満たない場合は履行状況に応じて、経費の補正を設計変更で計上する。ただし、営繕工事の経費の補正については、「営繕工事における週休2日モデル工事実施要領」（北海道建設部）によるものとする。

## (実施における留意事項)

第6条 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものである

ことから、週休2日による施工の実施にあたってはその趣旨に沿うよう努めるものとする。

- 2 契約後、受注者が週休2日による施工を希望したが、これを履行することができなくても、工事成績評価において減点等の措置は行わない。
- 3 受注者は、計画的な休日の取得に努めるものとするが、現場の進捗状況等から降雨、降雪等による予定外の休工日を現場閉所日とすることもできるものとする。
- 4 受注者は、地元対応やコンクリート打設後の養生期間、緊急対応など、やむを得ない場合は、監督員と協議のうえ、振替休日等により休日を取得することができるものとする。なお、現場閉所日に現場内の安全確認等が必要な場合は、最低限の人員により対応することとする。
- 5 発注者は、週休2日による施工が適切に実施されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの関係書類（工事月報、日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等をいう。）の提示により確認を行うものとする。
- 6 発注者は、災害対応等の緊急時を除き、休日の前日などに休日の作業が発生するような指示等は行わないこととする。
- 7 週休2日設定工事は、対象期間における現場閉所の状況に応じて、設計変更（4週8休未満の場合）により工事別に以下の経費を補正する。ただし、営繕工事の経費の補正については、「営繕工事における週休2日モデル工事实施要領」（北海道建設部）によるものとする。

**【工事の補正対象経費】**

土木工事：労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費

営繕工事：労務費

- 8 週休2日の履行が確認できた試行工事は、工事成績評価において加点評価を行う。

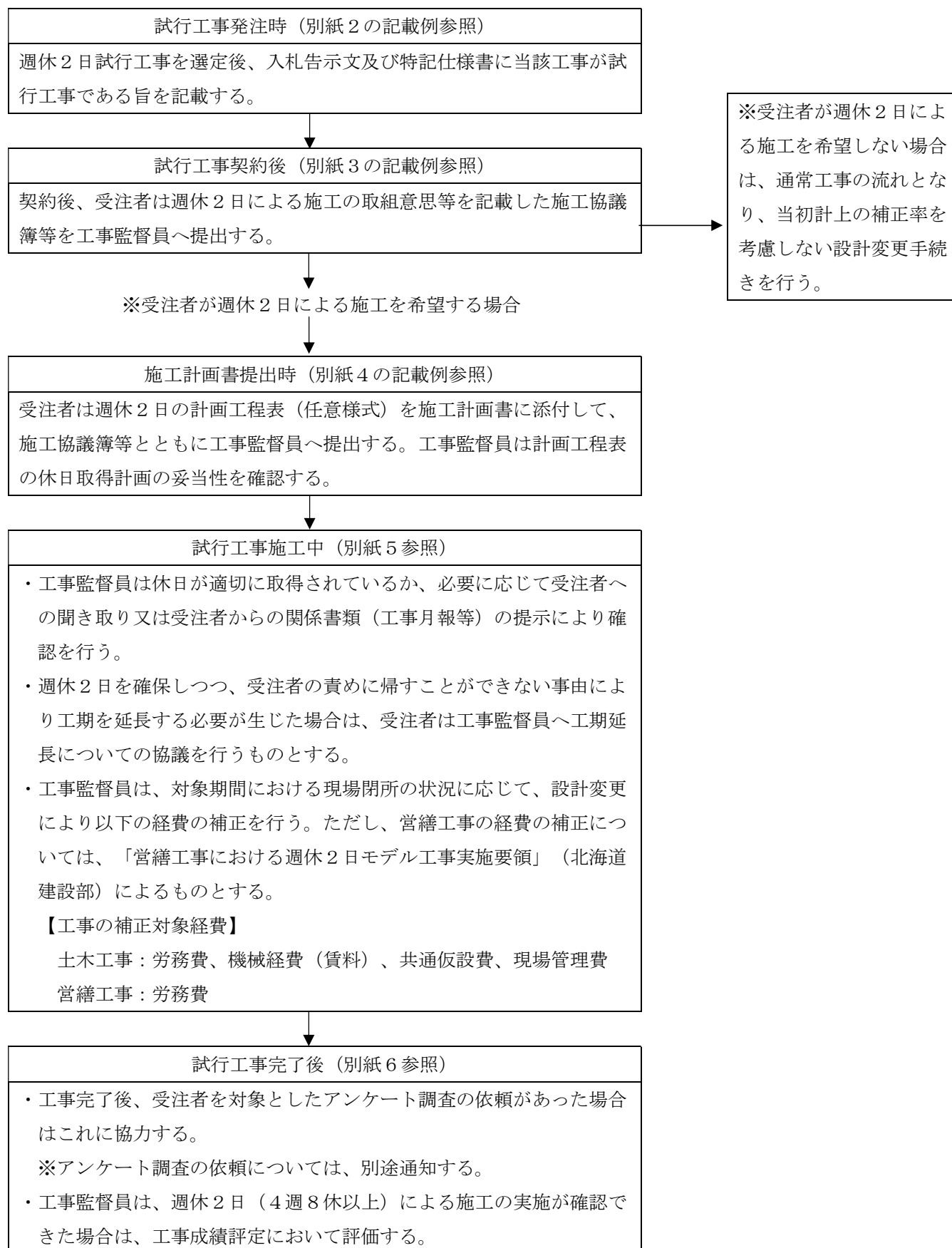
（その他）

第7条 この要領に定めのない事項については、市長が別に定めるものとする。

附 則

- 1 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

## 試行工事実施フロー



## 1 告示別表の記載例

告示別表に以下事項を記載すること。

「13 その他」に以下を追記する。

本工事は、「週休2日試行工事」の対象工事である。

受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。

## 2 特記仕様書の記載例

特記仕様書に以下事項を記載すること。

## ○ 週休2日試行工事の実施について

1 本工事は、「週休2日試行工事」の対象工事である。

2 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。

3 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日（4週8休）以上の現場閉所を行うことをいう。

対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。

4 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。

5 週休2日（4週8休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が、28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

《現場閉所率の算定方法》

$$K (\%) = A / (B - C)$$

※K：現場閉所率（%）

A：現場閉所日数（ただし夏季休暇3日間及び年末年始6日間の期間分を除く。）

B：週休2日確認対象期間日数（工事着手日から工事完成日までの期間）

C：Bのうち、夏季休暇3日間及び年末年始6日間と重複する日数

6 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。

7 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。

(1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。

(2) 受注者は、実施結果を関係書類（工事月報、日報、出勤簿、作業日誌、安全日誌等）により発注者へ報告する。

8 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合は、受注者は協力するものとする。



9 週休2日による施工を希望した工事は、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は現場の閉所状況に応じた補正係数を、労務費、機械経費(賃料)、共通仮設費率、現場管理費率に乗じる設計変更を行う。なお、労務費分が明らかとなっていない市場単価等については、補正の対象としない。

(1) 現場の閉所状況

① 4週8休以上

現場閉所率が28.5% (8日/28日) 以上の場合

② 4週7休以上4週8休未満

現場閉所率が25.0% (7日/28日) 以上28.5%未満の場合

③ 4週6休以上4週7休未満

現場閉所率が21.4% (6日/28日) 以上25.0%未満の場合

(2) 補正方法

① 土木工事

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は履行状況に応じて各経費を補正し、請負代金額を変更する。なお、4週6休に満たないもの及び、工事着手前に週休2日に取組むことについて協議が整わなかったもの(受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む)については、補正の対象としない。

② 営繕工事

「営繕工事における週休2日モデル工事実施要領」(北海道建設部)によるものとする。

10 週休2日試行工事について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。

11 その他の事項については、苫小牧市週休2日設定工事試行要領によるものとする。

## 工事施工協議簿

契約後打合せ時

[ 指示・承諾・協議・確認 ]

工事名		〇〇〇〇工事	工事監督員	総括監督員	主任監督員	監督員
業者名		(株)〇〇建設	署名			
協議年月日		令和3年〇月〇〇日	役職名	現場代理人	監理技術者	主任技術者
協議年月日		令和3年〇月〇〇日	署名			
協議事項	記載者	内 容				
	現場代理人 〇〇	<p>週休2日モデル工事について協議します。</p> <p>例1) 当工事において、週休2日による施工を希望します。</p> <p>例2) 当工事において、週休2日による施工は実施しません。</p>				
合意事項	監督員 〇〇	<p>例1) 了解しました。</p> <p>週休2日による施工を実施して下さい。</p> <p>また、週休2日の計画工程表を提出願います。</p> <p>例2) 了解しました。</p> <p>労働基準法第32条(労働時間の原則)及び第35条(休日)を順守の上、工事を進めて下さい。</p>				
	協議最終取交し日	令和3年〇月〇〇日	協議簿通し番号	No.		

記載例

## 工事施工協議簿

計画工程表受理時

[ 指示・承諾・協議・確認 ]

工事名		〇〇〇〇工事	工事監督員	総括監督員	主任監督員	監督員
業者名		(株)〇〇建設	署名			
協議年月日		令和3年〇月〇〇日	役職名	現場代理人	監理技術者	主任技術者
協議事項	記載者	内 容				
	現場代理人 〇〇	<p>前回打合せ時に協議した、週休2日の計画工程表を提出します。</p>				
合意事項	監督員 〇〇	<p>例1) 計画工程表の内容が適正(妥当)ですので、この工程に沿って工事を進めて下さい。 なお、施工中に工程変更が必要となった場合は、別途協議します。</p>				
		<p>例2) 計画工程表の内容を確認しましたが、極端に偏った現場閉所日となっているため、均衡の取れた閉所日になるよう調整をお願いします。 (計画工程表については再提出をお願いします。)</p>				
協議最終取交し日		令和3年〇月〇〇日	協議簿通し番号		No.	

## 週休 2 日試行工事の経費の補正について

週休 2 日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する試行を行う。

計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休 2 日を実施する工事については、現場閉所率を算出し、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。「現場閉所率の算定方法」、「現場の閉所状況」、「補正係数」、「補正対象経費」は以下のとおり。

<現場閉所率の算定方法>

$$K (\%) = A / (B - C) \quad ※K : \text{現場閉所率} (\%)$$

A : 現場閉所日数 (ただし夏季休暇 3 日間及び年末年始 6 日間の期間分を除く。)

B : 週休 2 日確認対象期間日数 (工事着手日から工事完成日までの期間)

C : B のうち、夏季休暇 3 日間及び年末年始 6 日間と重複する日数

<現場の閉所状況>

① 4 週 8 休以上

現場閉所率が 28.5% (8 日/28 日) 以上の場合

② 4 週 7 休以上 4 週 8 休未満

現場閉所率が 25.0% (7 日/28 日) 以上 28.5% (8 日/28 日) 未満の場合

③ 4 週 6 休以上 4 週 7 休未満

現場閉所率が 21.4% (6 日/28 日) 以上 25.0% (7 日/28 日) 未満の場合

<補正係数>

	現場の閉所状況		
	4 週 6 休以上 4 週 7 休未満	4 週 7 休以上 4 週 8 休未満	4 週 8 休以上
労務費	1. 0 1	1. 0 3	1. 0 5
機械経費 (賃料)	1. 0 1	1. 0 3	1. 0 4
共通仮設費率	1. 0 2	1. 0 3	1. 0 4
現場管理費率	1. 0 3	1. 0 4	1. 0 6

<補正対象経費> 土木工事：労務費、機械経費 (賃料)、共通仮設費、現場管理費

営繕工事：労務費

- 2 補正方法 受注者希望方式

(1) 土木工事

① 当初予定価格から 4 週 8 休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じ、工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて協議が整った工事は、現場の閉所状況に応じて、4 週 8 休に満たない場合は設計変更にて上記補正を行う。

② ただし、4 週 6 休に満たなかった工事、工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて協議が整わなかった工事は、上記補正を行わない。

(2) 営繕工事

「営繕工事における週休 2 日モデル工事実施要領」 (北海道建設部) によるものとする。

週休2日試行工事における工事成績評定の取り扱いについて

監督員の上司（監督員(3)）は、工期内における週休2日（4週8休以上）の履行が確認できた場合、工事成績評定において加点評価を行うこととする。

監督員の上司（監督員(3)）は、以下の考査基準に従い評定を行うこと。

【成績評定における加点】

- ・ 考査項目 「5. 創意工夫 ■施工関係 □その他」
- ・ 理由 「週休2日試行工事において、週休2日（4週8休以上）の確保を行った。」
- ・ 加点1点

○考査項目別運用表記入例（土木工事）

別紙-2-③(土木工事用)

5. 創意工夫 考査基準

〔記入方法〕 該当する項目の□に  マークを記入する。

監督員用(3)

工夫事項	
■ 施 工 関 係	<input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫
	<input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 土工・地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式等の施工方法に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 照明等の視界の確保に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械などに関する工夫
	<input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
	<input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事
	<input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事
<input checked="" type="checkbox"/> その他 理由： <b>週休2日試行工事において週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。</b>	
※上記項目に該当する場合、5点～0点の範囲で1項目1点の加点とする	

○ 考査項目別運用表記入例（営繕工事）

監督員(3)用

考査項目別考査基準

別紙 2-⑤（営繕工事用）

（創意 1 / 2）

考査項目・細別	評価対象項目	
5. 創意工夫	<p>■ 準備・後片づけ関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
	<p>■ 施工関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み</p> <p><input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：<b>週休2日試行工事において週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。</b></p> <p>詳細評価内容：</p>

# 週休2日設定工事の試行について(苫小牧市概要版) ※土木工事

## 1. 目的

建設業は現在、労働時間が長く、休日数が少ないことが課題となっています。労働者の健康確保やワークライフバランスの改善、また将来の担い手を確保するためにも休日数を増やし、より働きやすい職場環境づくりを行っていく必要があります。

今後、建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、受注者の休暇促進と担い手確保の後押しのため、また、現場における現状の課題や問題点を把握するため、週休2日設定工事の試行を実施します。

## 2. 週休2日とは

本試行工事における「週休2日」とは、工期内において、土日・祝日に関わらず、**週休2日(4週8休)以上の現場閉所**を行うことを言います。(年末年始6日間及び夏季休暇3日間は現場閉所日から除く)

※ただし、「週休2日の確保」の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日の実施にあたっては、その趣旨に沿うよう努めるものとして下さい。

## 3. 対象工事

- ・入札告示別表及び特記仕様書に「週休2日設定工事」の対象であることを明記しています。
- ・週休2日の実施については、契約後、受注者が選択することとなります。(受注者希望方式)

## 4. 経費の設定と補正、成績評価

※発注時の予定価格及び工期は4週8休で設定しています(予定価格には右表の各対象経費に対し4週8休の補正分が含まれています)。

※入札金額の積算にあたっては、4週8休の補正分を含めて算出してください。

※契約後、4週8休を希望しない場合は設計変更により工事費を減額補正します。

※結果として4週8休を達成できなかった場合は、現場閉所の状況に応じて、設計変更により工事費を減額補正します。

※週休2日の履行が確認できた場合は、工事成績評価において評価します(1点を加点)。

## 試行工事の流れ

### 公告段階

- ・入札告示別表および特記仕様書にて「週休2日設定工事」であることを明記します。

### 契約後

- ・受注者は「週休2日」の取組意思等を施工協議簿にて工事監督員へ提出してください。
- ・計画工程表(任意様式)を施工計画書に添付し、施工協議簿とともに工事監督員へ提出してください。

### 工事施工段階

- ・週休2日の実施状況は受注者への聞き取り又は工事月報等により確認します。

### 完成後

- ・工事監督員は、工事月報等により休日の取得状況を確認し、工事成績評価において加点評価を行います。
- ・アンケート調査を依頼しますので、ご協力をお願いします。

【補正対象経費】 労務費・機械経費(賃料)・共通仮設費・現場管理費  
【補正係数】 下表のとおり

	4週6休	4週7休	4週8休
労務費	1.01	1.03	1.05
機械経費(賃料)	1.01	1.03	1.04
共通仮設費	1.02	1.03	1.04
現場管理費	1.03	1.04	1.06

# 週休2日設定工事の試行について(苫小牧市概要版) ※営繕工事

## 1. 目的

建設業は現在、労働時間が長く、休日数が少ないことが課題となっています。労働者の健康確保やワークライフバランスの改善、また将来の担い手を確保するためにも休日数を増やし、より働きやすい職場環境づくりを行っていく必要があります。

今後、建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、受注者の休暇促進と担い手確保の後押しのため、また、現場における現状の課題や問題点を把握するため、週休2日設定工事の試行を実施します。

## 2. 週休2日とは

本試行工事における「週休2日」とは、工期内において、土日・祝日に関わらず、**週休2日(4週8休)以上の現場閉所**を行うことを言います。(年末年始6日間及び夏季休暇3日間は現場閉所日から除く)

※ただし、「週休2日の確保」の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日の実施にあたっては、その趣旨に沿うよう努めるものとしてください。

## 3. 対象工事

- ・入札告示別表及び特記仕様書に「週休2日設定工事」の対象であることを明記しています。
- ・週休2日の実施については、契約後、受注者が選択することとなります。(受注者希望方式)

## 4. 経費の設定と補正、成績評定

※発注時の予定価格には週休2日の補正分は含まれておりません(工期は4週8休の設定です)。

※入札金額の積算にあたっては、4週8休の補正分を含めずに算出してください。

※受注者が週休2日の施工を希望し、4週6休以上を達成できた場合は、現場閉所の状況に応じ、設計変更により工事費を増額補正します(営繕工事は労務費のみが対象です)。

※週休2日の履行が確認できた場合は、工事成績評定において評価します(1点を加点)。

## 試行工事の流れ

### 公告段階

- ・入札告示別表および特記仕様書にて「週休2日設定工事」であることを明記します。

### 契約後

- ・受注者は「週休2日」の取組意思等を施工協議簿にて工事監督員へ提出してください。
- ・計画工程表(任意様式)を施工計画書に添付し、施工協議簿とともに工事監督員へ提出してください。

### 工事施工段階

- ・週休2日の実施状況は受注者への聞き取り又は工事日報等により確認します。

### 完成後

- ・工事監督員は、工事月報等により休日の取得状況を確認し、工事成績評定において加点評価を行います。
- ・アンケート調査を依頼しますので、ご協力をお願いします。

### 【補正係数】

	4週6休	4週7休	4週8休
労務費	1.01	1.03	1.05

※営繕工事については、労務費のみが対象です。



## 苫小牧市余裕期間設定工事実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、苫小牧市が発注する建設工事において、建設資機材の調達、建設労働者の確保を計画的に行う等受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、余裕期間を設定する工事（以下「余裕期間設定工事」という。）を実施するに当たり、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 全体工期 通常工期と余裕期間をあわせた期間をいう。
- (2) 通常工期 通常の積算により算出した工期をいう。
- (3) 実工期 全体工期内で、受注者が設定した工事着手日から発注者が指定する通常工期（工事日数）が経過した日までの期間で、契約書上の工期をいう。
- (4) 余裕期間 契約締結日から工事着手日の前日までの期間をいう。

(対象工事)

第3条 発注者が、次に掲げる事項その他の事情を総合的に判断し、余裕期間設定工事を選定することとする。

- (1) 余裕期間の設定により、供用開始に影響を及ぼさない工事であること。
- (2) 年度内（繰越手続き等が完了済みの場合は当該期間内）に全体工期を確保でき、余裕期間を設定したことにより繰越が生じない工事であること。
- (3) 冬期施工により、品質低下の恐れがない工事であること。
- (4) 工程の調整が困難でないこと。
- (5) 緊急度の観点から支障がない工事であること。
- (6) 予算の執行において、支障が生じない工事であること。

(工事着手期限日)

第4条 発注者は、余裕期間設定工事の通常工期（工事日数）を算出し、その期間の30%を超えず、かつ、4か月を超えない範囲内で工事着手期限日を指定するものとする。

- 2 発注者は、余裕期間設定工事であること及び工事着手期限日を入札公告、特記仕様書等により明示しなければならない。
- 3 受注者は、契約締結日から工事着手期限日までの期間で任意の日を工事着手日とすることができる。

(工事費の積算)

第5条 工事費の積算は、契約後直ちに着工する工期を基準とした積算方法により行うものとし、余裕期間の設定に伴う積算上の割増は、行わないものとする。

(工事着手日の申出等)

第6条 落札決定後、当該落札者は、契約締結日の前日までに工事着手日申出書（様式1）により工事着手日を発注者に申し出なければならない。

なお、期日までに当該申出がない場合は、受注者が余裕期間を活用しないものとして、通常工事と同様に取り扱うものとする。

- 2 受注者は、休日（苫小牧市の休日に関する条例（平成 3 年苫小牧市条例第 17 号）第 1 条第 1 項に規定する苫小牧市の休日をいう。以下同じ。）を工事着手日に設定することはできない。また、設定した工事着手日により実工期の末日は休日とすることができない。

（経費の負担）

第 7 条 余裕期間の設定により増加する経費は、受注者が負担するものとする。

（前払金の取扱い）

第 8 条 受注者は、実工期内において、前払金を請求できるものとする。

（余裕期間内の取扱い）

第 9 条 余裕期間内の取扱いについては、次のとおりとする。

- （1）当該工事現場の管理は、発注者の責任において行うものとする。
- （2）資材の搬入及び仮設物の設置等の準備工事を含め、工事に着手してはならないものとする。
- （3）受注者は、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人を配置することを要しない。

（契約の保証）

第 10 条 契約保証期間は、契約締結日から実工期の末日までとする。

（その他）

第 11 条 この要領に定めのない事項については、市長が別に定めるものとする。

## 附 則

- 1 この要領は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 苫小牧市余裕期間設定工事試行要領は、廃止する。

様式1

## 工事着手日申出書

令和 年 月 日

苫小牧市長 様

申請者

住所

商号又は名称

氏名

印

次のとおり実工期を定めましたので申し出ます。

工事番号	( )
工事名	
契約締結年月日 (予定)	令和 年 月 日 ( 曜日)
工事着手日	令和 年 月 日 ( 曜日)
実工期 (契約で定める工期)	工事着手日から 令和 年 月 日 ( 曜日) まで ( 日間)

- ※1 契約締結日の前日までに提出すること。
- 2 工事請負契約書の工期の始期日は、本申出書に記載された工事着手日とする。また、実工期の工事日数は、発注者があらかじめ指定する日数とする。(工事着手日及び実工期の末日は、土日、祝日・休日、12月29日～1月3日に設定することはできない。)
  - 3 余裕期間(契約締結日から工事着手日の前日までの期間)において、受注者は、資材の搬入及び仮設物の設置等の準備工事を含め、工事に着手してはならない。
  - 4 余裕期間は、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人を配置することを要しない。
  - 5 余裕期間の設定により増加する経費は、受注者の負担とする。
  - 6 契約保証期間は、契約締結日から実工期の末日までとする。
  - 7 前払金を請求できる時期は、実工期内となる。



## 苫小牧市発注工事における特例監理技術者に関する事務取扱要領

## (趣旨)

第1条 この要領は、苫小牧市の発注工事における建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の取扱い等について、必要な事項を定める。

## (兼任を認める工事)

第2条 特例監理技術者が建設工事を兼任することができるのは、次に掲げる条件の全てを満たす場合とし、合計で2件まで兼任を認めることができるものとする。

- (1) 国又は地方公共団体が発注した工事であること。
- (2) 工事場所が苫小牧市内であること。
- (3) 監理技術者の職務を補佐する者（監理技術者補佐）を専任で配置すること。
- (4) 特例監理技術者を配置不可とする工事でないこと。

## (兼任の手続き)

第3条 特例監理技術者を配置する場合、兼任する工事の工事名、発注者名、工事場所が明示された書類を提出すること。

## (兼任の解除)

第4条 市長は、兼任を認めた工事において施工管理体制等が不十分と判断したときは、兼任を解除するものとする。

## 附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。